

さの文化

第 19 号

令和6年3月31日 編集・発行 佐野市文化協会

主な記事

- 会長挨拶・芸術文化ふれあい事業 (P2)
- さの文化の祭典 (P3)
- わたしたちの文化活動 (P4~P7)
- 市長への文化提言・団体記念事業・トピックニュース (P8)
- 文化協会交流事業・佐野の文化人 (P9)
- コラム・佐野の名所旧跡案内 (P10)
- 加入団体名簿・役員 (P11)
- 賛助会員紹介 (P12)



さの文化の祭典 (令和6年2月23日~25日)

展示

2月23日~25日 絵画・書道・写真・工芸・歴史・手芸・パソコン・文化協会のあゆみ展
2月24日~25日 いけばな展 24日 チャリティ販売 25日 呈茶

ステージ

2月23日 カラオケ歌謡ショー フラ大集合 邦楽の集い
2月24日 民謡・伝統芸能の世界 和の音楽祭 演劇公演「大地と共に」(田中正造物語)
2月25日 ファイナル音楽祭~すてきな仲間たち~ グランドフィナーレ~未来に向かって~

令和5年度 (R6年3現在)

賛助会員紹介

本会へのご支援ありがとうございます。

ご協力いただきました会費は当協会の大切な活動費として、文化の振興に有意義に活用させていただいております。

今後ともご指導ご支援の程よろしく申し上げます。

- | | | | |
|------------------------|------------------|--------------|------------------|
| 認定こども園 愛育幼稚園 | 片山 弘美 | アサヒ山崎 好一 | ファンテック(株) |
| 青木 勇 | 加藤米菓本店 | 関根真知子 | 福田建設(株) |
| (有)秋野印刷 | 金井千代子 | 関谷 理久 | 藤掛恵美子 |
| (株)青木建設 監修 青木 安男 | 金子 玲月 | 浅間神社 | (有)ふみきり寿司 |
| 青村 孝風 | 上岡 一雄(株)佐野ラーメン本舗 | 洗心幼稚園 認定こども園 | 古橋 宗智 |
| アスタリスク・ミュージック 小山 洋子 | 神永写真館 | 惣佛寺 旭岡 靖人 | (株)ホクサン |
| 安蘇印刷(株) | (株)河西 | 第一酒造(株) | 星宮神社 新村 貢一 |
| 安蘇重工(株) | 亀田 清 | 大門 美翠 | (株)ホテル乃館 監修 尾花 栄 |
| 荒井 宗佳 | 川島 紫紅 | 高橋 宗幸 | (株)ホテルサンルート佐野 |
| 安藤 儀一 | 菊澤 洋之 | 武田 宗園 | (株)丸山工芸社 |
| 安藤 宗節 | 黒澤 宗光 | 田中税理士法人 | (有)味噌まんじゅう新井屋 |
| 飯田 景月 | 興福寺 吉留 隆道 | 田沼 清 | 三田 静穂 |
| 飯田産業(有) | 小熊勝一郎 | 田村 宏司 | 村檜石灰工業(株) |
| 飯田 真二 | 小熊 ナヲ | 監修 常盤福祉会 | 村田 安旦 |
| 監修 妙音寺学園 認定こども園 育成館幼稚園 | 寶龍寺 小林 慧瞬 | 栃木県総合書道センター | (株)茂木設計 監修 茂木 弘司 |
| 犬伏とみや 三富良子 | (有)ゴミタ印刷 | (株)どまんなかたぬま | 森戸由美子 |
| 市川 一桂 | 小山 武 | 呑竜幼稚園 | 茂呂 朝花 |
| 岩崎喜美子 | 早乙女 務 | 永井 宗誉 | 矢澤 敦子 |
| エヌケーケー(株)監修 廣澤 英次 | 佐藤 容陽 | 長尾 光晴 | やじま印刷(株) |
| 海老原脩治 | 佐野ケーブルテレビ(株) | (株)永沢緑花苑 | 安原 高次 |
| 遠藤 節仙 | 佐野写遊 | 長島医院 院長 長島 徹 | 柳田 昂雲 |
| 遠藤紫芳庵 | 佐野東石美術館 | 永島 由江 | 横田 桜水 |
| 大阿久 則子 | 佐野ユネスコ協会 | 拜崎 宗幸 | 吉澤慎太郎 |
| 書道研究 芳洲書院 大芦 芳洲 | 篠崎貸衣裳店 | 畑 豊彦 | 吉澤石灰工業(株) |
| (株)扇谷 石倉 大 | 島田 スミ | 花さち生花店 | ヨシダ電気工業(株) |
| 大竹 汎泉 | 島田 文男 | 花柳 瀧三郎 一門会 | 若柳 緑 |
| 大橋 宗加 | (株)秋栄堂 | (有)平岩商店 | 若柳 英抄 |
| 岡安 祐璃 | 新栄 峰春 | 平林 宗栄 | 若柳美幸野 |
| 小倉 光雄 | (株)ステップぱーとなー佐野 | 廣瀬 恵子 | 渡辺 梨静 |
| 小関 清泉 | 諏訪 悠崖 | 廣瀬 裕 | (敬称略・順不同) |
| 落合 宗法 | | | |

編集委員

- | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|----------|----------|----------|----------|
| 委員長 大阿久則子 | 副委員長 古橋美紀悦 | 委員 大川 圭吾 | 委員 片山 明美 | 委員 北林 良子 | 委員 吉田 暉月 | 委員 荒井 脩 | 委員 廣瀬 裕 | 委員 根岸 尚加 | 委員 藤田真砂子 | 委員 石川 まり | 委員 西川 由純 |
| 副委員長 大阿久則子 | 委員 古橋美紀悦 | 委員 大川 圭吾 | 委員 片山 明美 | 委員 北林 良子 | 委員 吉田 暉月 | 委員 荒井 脩 | 委員 廣瀬 裕 | 委員 根岸 尚加 | 委員 藤田真砂子 | 委員 石川 まり | 委員 西川 由純 |
| 委員 大阿久則子 | 委員 古橋美紀悦 | 委員 大川 圭吾 | 委員 片山 明美 | 委員 北林 良子 | 委員 吉田 暉月 | 委員 荒井 脩 | 委員 廣瀬 裕 | 委員 根岸 尚加 | 委員 藤田真砂子 | 委員 石川 まり | 委員 西川 由純 |
| 委員 大阿久則子 | 委員 古橋美紀悦 | 委員 大川 圭吾 | 委員 片山 明美 | 委員 北林 良子 | 委員 吉田 暉月 | 委員 荒井 脩 | 委員 廣瀬 裕 | 委員 根岸 尚加 | 委員 藤田真砂子 | 委員 石川 まり | 委員 西川 由純 |

(大阿久則子)

編集後記

年度末になりましたが、「さの文化の祭典」が盛大に行われました。各部門の団体による最高のパフォーマンスをお観せする事ができました。本イベントを企画し開催いただいた関係者とスタッフの皆様へ感謝申し上げます。「さの文化」第19号も、充実した内容に仕上がりました。発刊にあたり執筆いただいた方や、編集委員、事務局の皆様へ厚く御礼申し上げます。



「コロナ禍を経て日常に戻った協会の活動」

佐野市文化協会 会長 廣瀬 裕

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から第5類に移行され、私たちの生活も徐々に通常に戻ってきました。活動の拠点としていた施設が使用できないことの辛さを身に染みて感じました。令和5年度は各団体の活動も活発に行われるようになり、各部門で繰り広げる市民文化祭も盛んに展開されました。私たち文化協会には高齢化・会員減少で運営に支障をきたす団体も増え、これらの課題解決に向け文化協会では令和4年度から検討に取り組んでおります。

令和6年2月23日・24日・25日の3日間佐野市文化会館で開催した「さの文化の祭典」はその取り組みの一つでした。市民に親しまれ愛されており、文化協会としても大切な文化活動の拠点である文化会館が令和6年4月から3年間改修のため休館となります。その前にお借りし、文化協会の活動を市民の皆様にご覧いただき感じて文

さの文化の祭典・開催にあたって

佐野市文化協会では、加入団体を中心となり佐野市文化会館を主会場として市民文化祭を開催してまいりました。文化会館は令和6年4月から大規模改修を行うことになり、令和4年度に開催された文化協会活性化会議の席上、一部の会員から「全ての部門が参加する総合市民文化祭を開催したらどうか」という提案がありました。早速、各部門の代表者で実行委員会を組織し熱心な議論と検討を行いました。これまででの文化会館への感謝の気持ちや改修後の期待を込め大勢の市民の皆様が来場を得て開催することができました。



(海老原脩治)

さの文化の祭典・展示

今回の祭典は、関係者の皆様ご力を合わせて努力した事で、素晴らしい結果になったと思います。ご来場の皆様にも十分に楽しんで

化協会のことを知っていただくという思いから、佐野市の共催をいただき、文化会館への感謝も込めて文化協会総力を挙げて実施いたしました。当協会としては初めての試みで各方面の方のご理解と並々ならぬご協力をいただき実現できました。たくさんの方々に喜んでいただき、また報道の協力もいただきました。大きな成果を感じました。

芸術文化ふれあい事業の一つ「イオンモール事業」も令和5年度は開催でき、イオンモール20周年記念との連携でしたが、参加団体はたくさんのお客様の前で素晴らしいパフォーマンスを披露していただきました。

令和6年度末には佐野市文化協会は設立20周年を迎えます。節目の事業を計画したいと思っております。今後とも佐野市と連携し、協力いただきながら、佐野市の文化の振興に努めてまいりますのでよろしくお願いたします。

さの文化の祭典

いただけただけではないでしょうか。展示部門としては、以前から話に出ていた各部門の作品を同時に展示することについて、なかなかまとめるのが難しく、これまで実現出来ずにいましたが、今回、祭典の名の元にエネルギーが働き充実した結果が生まれました。個々には展示スペースの減少等問題はありますが、却って優秀作品を展示出来たと思っております。ご来場の皆様も一度に多部門の作品を鑑賞する事が出来て楽しんで頂きました。今後はこの貴重な経験を活かし継続出来たらと願っています。



さの文化の祭典・茶華道

佐野市茶華道協会では大・小ホール入口の2カ所に迎え花を担当させていただき華道部全員の息の合った作品に多くの方々からお褒めの言葉を頂戴し嬉しく思います。また華展では代表者の作品と共同作品を飾りました。25日の早茶で

イオンモール20周年参加

10月21日・22日(日)に開催中のイオンモール佐野新都市周年祭で、洋舞フラ、佐野少年少女合唱団、野州小桜が出演し会場を沸かせました。また、会場には丸山工芸社の生人形が展示され人目を引いていました。



市民ギャラリー活用事業

邦楽八景舎公演
邦楽八景舎は、多くの方々に邦楽の世界に親しんでいただくために、映像、解説と共に長唄・箏曲の演奏活動を行っています。

平成5年度は、第10回・11回公演を有観客で行い、佐野ケーブルテレビで放送されました。

○第10回公演(5月14日)

「邦楽いろは」
長唄・きかせどころ、なかせどころ
『勸進帳』 『吉原雀』 『鞍猿』
箏曲・いま、むかし
『六段調』 『花の宴』
『嵯峨の秋』 『三つの断章』

さの文化の祭典・ステージ

舞台の前日の仕込みに始まり、雰囲気も盛り上がりつつ中、いよいよ開幕の23日は、少し雲の多い日でしたが、出演者の熱気で初日は良い滑り出しとなりました。

24日は、外部からの出演団体、人丸神社敬神講様、鏡塚宮比講神楽保存会様、野州小桜様にもご出演いただき、舞台に花を添えて頂きました。最終日の25日には、多くの学生ボランティアさんのおかげで、最後の舞台上は総勢百名を超える「大地讃頌」の響きで会場を埋め尽くし、感激の内に



(茂呂朝花)

会場を埋め尽くし、感激の内に



○第11回公演(10月22日)
長唄 『秋の色種』
箏曲 『江の島曲』
(古橋美紀悦)

表紙について

ステージの最後を飾ったのは、特別編成のオーケストラと大合唱団によるフィナーレ、大地讃頌。会場は大きな拍手と感動に包まれました。

さの文化の祭典に参加して

指揮者 鈴木明博

さの文化の祭典、ご成功おめでとうございます。今回のような多彩なプログラム企画が、今後も継続して開かれることを切望いたします。オーケストラ佐野は、11月24日に葛生あくすとプラザで佐野クラシックコンサートを開催いたします。私たちも毎年定期演奏会ができる楽団に成長できたらと思っております。応援お願いたします。

終わることが出来ました。裏方のご尽力、出演者全員の思いやりと団結の大切さ、そして皆さんの感謝の気持ちを感じられた三日間となりました。

さの文化の祭典・チャリティ販売

2月24日、会員の作品を展示販売いたしました。ご購入いただいた皆様に心より御礼申し上げます。売上げの一部を期間中にご協力いただきました能登半島地震の義援金と共に日本赤十字社に寄付させていただきます。

寄付金額計 186,941円

さの文化の祭典に参加して

人丸神社 林 綾子
佐野市文化会館の舞台で、人丸神楽を多くの市民の皆様にご覧いただくことができ、誠に光栄でした。神楽は、毎年四月と十月の第二日曜日に執り行う例祭で奉納しています。今回披露した「猿田彦命舞」を含め八座の神楽を奉納しています。笛、太鼓、大拍子の音色と物静かな中にも迫力のある舞をご覧いただきたいです。

わたしたちの文化活動

各部門の活動をご紹介します。
ただ今、会員募集中です。



歌謡 第19回 佐野市民文化祭

12月10日、午前10時より田沼中央公民館大ホールにて田沼歌謡市民文化祭が開催されました。今回はコロナ5類移行によりマスクの着用などの制限もなくなり会員はみな、おもいきり歌うことができました。

始まりは、市長のあいさつ、佐野市文化協会長のあいさつ、横田県議もお祝いに駆け付けて下さいました。その後、トップバッターの歌に合わせ



パソコン 「花とメルヘンの世界」

市民文化祭（パソコン部門）が、11月10日より3日間佐野市民ギャラリーで開催され多くの方に鑑賞いただきました。最近メルヘンという言葉が聞かなくなりまして、少しでも優しい気持ちや思いやりを忘れて欲しくないという願いから今回のテーマを決めました。

小品ながらも心豊かな作品や個性あふれる作品が並び、高い評価をいただきました。また、ご来場の記念に「しあわせのイチゴ」をご用意させていただきました。ご来場誠にありがとうございました。



(小山 武)

絵画 絵を楽しもう

第19回市民文化祭絵画展がさる12月8日から10日まで開催されました。文化協会に所属している人も、一般の市民の方もこの一年間に楽しんで描いた作品を一堂に飾りました。



コロナ禍が幾分緩和されたため、ほっと皆さん和気あいあいとしたひと時でした。どうか皆さんも仲間に入ってみませんか！

(村田安旦)

華道 楽しみ広がる 生け花

春の訪れと共に、市民文化祭・華道展が4月15日（土）16日（日）と開催されました。六つの各流派43名の力作が並び、生ける私達も美しいお花に力をいただいた、真剣に向き合うことができました。見に来て下さった方からも「心



(川島紫紅)

演劇 愛しています。

私が初めて参加させていただいた、さの演劇塾は団員の皆様がとても優しく元気とにかくパワフルでした。私も、皆様と過ごしていくうちに、人生が良い方へ変わ

りました。人に優しく、何でも吸収し、素直に正直に生きようと思えました。今の自分があるのはさの演劇塾のお陰です。高校時代演劇部に入っていた頃のワクワクが43歳になって味わえると思っていませんでした。公演を終えてあらためて団員皆様の事を心から尊敬するし、そして心から愛しています。本当に、皆様ありがとうございました。



(森田直樹)

音楽 「フルール・アミー」

私たちは令和5年度から活動を始め、7月9日の佐野市民音楽祭でデビューをしました。フルールが好きな仲間が集まり、クラシックからポピュラーまで様々な曲をアンサンブルして楽しんでいます。初心者から上級者、小学生から70代と幅広いメンバーで、次のイベントに向け楽しいステージが作れるよう練習をしています。アンサ

ンブルではメロディーを演奏するだけでなく、ハーモニをついたり、伴奏したりとソロでは得られない魅力があります。また新しい仲間も募集中です。みなでアンサンブルを楽しみ、ステージに立つて輝きましょう。

(小山花波)

洋舞フラ 一年を振り返って

昨年は、コロナが5類に移行された事もあり、私達スカイブルーアロハスタジオのフラダンスの発表の機会が増えました。

その中でも、とても印象に残っているのが4年ぶりに開催されたどまんなかフェスタです。いつもは屋内の発表ですが、屋



邦舞 市民文化祭と 日本舞踊

外のステージで、最初はちよっと肌寒かったですが、踊っていくうちに心地よい風と解放感あふれるステージが大変気持ち良かったです。発表する前は大変緊張しますが、場数を踏む毎に笑顔も増え、失敗しても楽しむ事が出来ます。皆様も一緒に踊ってみませんか。

(鶴崎恵美子)



昨年に引き続き「素踊りの会」を開催し大和楽「寿」で無事に幕明け、日頃、精進した成果を次々と披露致しました。今回は若い母と子（3歳）の微笑ましい舞台もあり、年代を問わず踊れる日舞の素晴らしさを実感致しました。今後若い人達が率先して参加して下さる事を願いつつ指導者としても更に精進せねば…と心新

邦楽 改修前最後の文化祭

「邦楽と詩舞の会」は、令和5年11月19日、文化会館小ホールで開催されました。長唄三味線と箏との合同演奏、「さくらさくら変奏曲」から始まり、長唄二番、箏曲三曲、詩舞九曲が賑やかに、華やかに上演されました。この日もやはり、後日佐野ケーブルテレビで放送され、多くの方々にご覧いただくことができました。邦楽部一同ありがとうございました。御礼申し上げます。

今回は平成6年11月17日、葛生あくどプラザで開催する予定です。秋の一日、紅葉を楽しみつつ、是非ご来場ください。



(古橋美紀悦)

吟詠剣詩舞紹介

私達の学ぶ吟詠剣詩舞は、古来、花鳥風月や喜怒哀楽、史事などを詠んだ漢詩や和歌等を高らかに吟じ、優雅にそして勇壮に舞うものです。



令和5年度の発表は、5月14日(日)の第19回佐野市民文化祭で日頃の練習成果を披露いたしました。また、11月26日の桐生市での両毛五市吟詠剣詩舞交流大会では各市の愛好者の皆様とともに演技の発表や交流を深めました。皆様のご見学やご参加をお待ちしています。

(富田賢崖)

写真 第19回佐野市民文化祭写真展開催

11月18日・19日に例年通り文化館展示室にて応募出展58点と特別出展4点により開催されました。公開審査にあたり今回は坂野

美好氏と鯉沼孝雄氏のお二人により作品ひとつひとつに着眼し時間をかけた選定となりました。



好評では「人物・風景など幅広いジャンルによる素晴らしい作品」と評価されました。参加された皆様には感謝いたします。受賞作品は、文化祭賞はじめ特別賞(高校生以下)など27点が選ばれ、表彰式は文化協会会長から表彰状や楯が贈られ、文化祭賞は、島田功さんの「祈り」でした。

(荒井 脩)

短歌 あそ野短歌会

第19回佐野市民文化祭短歌会を令和5年11月17日午後、佐野市民ギャラリーにて開催致しました。その折の短歌が左記となります。○誰がための戦争なるや今もなお幼児にさえ砲弾は落つ

内田美代子

○園庭にわつしよいわつしよいの 声響き神輿担ぐ子に総立ち拍手

手芸 手縫いの暖かさ

猛暑が過ぎ、紅葉の中で10月28日、29日にコロナ禍で出来なかつた手芸部パッチワーク展が「たぬまふるさと館」で4年ぶりに開催されました。大きなタペストリーから小物、バッグ等を並べて、和気あたたかいの中で無事に終える事が出来ました。文化協会の方々のご協力もあり、大変感謝しております。



丹精込めて縫い上げた物の暖かさを少しでも皆様にお伝えする事が出来たのなら幸いです。最近手芸部も高齢になって参りました。無理をせずに頑張りたいものです。

(北林良子)

工芸 参加しよう！ 工芸展

令和5年度佐野市民文化祭工芸展が、10月7日〜9日とまんなかため大ホールにて開催されました。



今年度も書道連盟の活動は文化の発展に寄与し尽力し変わることなく続けて参ります。結びに当会に賛同の方々のご入会をお待ちしております。

(大昔芳洲)

田尻 茂子
○洗濯物干さんと仰ぐ空高く深き 青空永久に滙てなし

笠井 和子
○眠れない真夏のベッドつきつきと 悔いある過去が浮かびて消えず

田所 妙子
○昼寝より覚めし娘煎餅平らげて 束ね直した髪をふりゆく

茶道 穏やかな春の日に

コロナ禍が世界中を駆け巡り、その脅威に晒されています。治まって来た4月、4年ぶりに、茶席をもつ事が出来ました。人数制限があり、また思う以上の配慮をしなければなりません。皆で話し合い、その日を迎える事が出来ました。

今日の茶会が無事終えた事に、感謝を致しております。

最後に茶道部は七流派で活動しており、



田沼太鼓と私
私は現在、田沼太鼓に入団して約15年が経ちました。そんな私にとって田沼太鼓はなくてはならない存在となりました。



自分の大好きな太鼓を叩けることでもあります。練習場に行けば大好きな仲間がいるということが自分にとってなくてはならない存在になった理由です。

太鼓の練習では仲間と切磋琢磨してお互いの技術向上に努めています。

もちろん悔しいことも沢山あります。ですが私には仲間がいます。その仲間たちにアドバイスをもらい、できなかったフレーズがで

コロナの影響が今だに大きく、感染対策には万全の注意を払いながら行いました。

近年参加者が減少する中、陶芸、押花、遊書、ソープカービング、つまみ細工等、新しい参加者の見応えのある文化祭となりました。

更に嬉しい事に、来場者が昨年の倍以上に増えて沢山の方々に観て頂けました。来年も、全員健康で参加出来る様に頑張りたいと思っております。

(永島由江)

歴史研究 第39回 安蘇の風土と歴史講座開催

安蘇史談会・佐野市民文化協会主催の「第39回安蘇の風土と歴史」を佐野市中央公民館で開催しました。第1回「慈覚大師円仁とその魅力と功績を探る」第2回「幕末・出流山事件と新里村の戦い、佐野川原での処刑など」第3回「須永元日記を読む」第4回「人と文化が行き交う道―東山道からあづま道へ―」を開催しました。

写遊 写真展の開催 (文化協会後援)

9月16日に行われたさの秀郷まつりに合わせて15日から3日間、市民ギャラリーで写真展を開催しました。展示は写真部門の佐野写遊が中心となり、これまでに撮影した見応えのある写真24点を展示しました。この中には栃木県芸術祭で入選した作品や中学生や高校生の写真もありました。

(大川圭吾)



2月16日から18日は写真部門の市民文化祭で受賞した作品を集めた作品展を市民ギャラリーで開催しました。

(協力 佐野写遊)

市長への文化提言

令和6年3月18日佐野市役所市長公室において金子市長へ廣瀬会長と役員4名にて、佐野市の文化振興に関する提言書を提出させていただきました。

- 一、文化芸術に親しめる環境づくりに関して
- 二、伝統文化・郷土芸能・文化財等に関して
- 三、市の文化行政に関して
- 四、文化協会の活動に関して

今後も市政と文化協会が車の両輪となり更なる佐野市の文化発展に寄与して参ります。

提出に先立ち、さの文化の祭典で来場者よりご協力いただきました能登半島地震義援金を、市を通じて日本赤十字社へ贈呈させていただきます。



寄付金額計 186,941円

書道連盟創立30周年

佐野書道連盟は平成6年に結成し各種の研修や書道展、地域間で交流を重ねて参りました。主に、市民文化祭や秀郷子供書道展、両毛五市美術展参加など会員の皆様のご協力を頂いております。これからも地域に根ざした活動と書道文化の発展と普及に努めて、多くの愛好者を募っていききたいと思っております。
(大芦芳洲)

全日本写真連盟佐野支部 創立50周年支部展

令和5年12月に記念の佐野写真展を開催し今までにない試みとして作品サイズを全倍の大きさに伸ばして展示。市内のアマチュア写真家では初めての大伸ばし展示で、皆様から異口同音に「こんな大きい作品観たことありません！」とか、「迫力があって中身も素晴らしいですねー！」といったお褒めの言葉を頂戴し今後感動する作品作りを精進を重ねようと会員一同確認しました。
(江連康晴)



トピックニュース

□協会にゆかりのある皆様のご活躍についてお知らせします。各分野での輝かしい活動と実績に敬意を表します。

(敬称略)

- 第77回栃木県芸術祭美術展 書道部門 入選
青木陽山 江田翠峰
川島桂舟 桑子暉永
中山ひらか 林 唐華
藤掛恵美子 吉田暉月

植野小学校創立 150周年演奏会

昨年9月25日に植野小学校の創立記念行事として邦楽八景舎とフルート&ピアノアンサンブルがご招待を受けました。フルート&ピアノ演奏ではクラシックの名曲や唱歌を演奏。校歌を全員で合唱し、音楽ゲームで盛り上がり、最後の「ラデッキー行進曲」では曲の強弱に合わせた手拍子で音楽のエネルギーが会場に溢れました。邦楽では「さくらさくら変奏曲」「元禄花見



- 洋画部門 入選 小竹 昇
- 写真部門 入選 齋地和男
- 工芸部門 入選 齋川 清

○第99回白日会展 入選 柳田アキ

○第27回秋耕展 入選 齋地和男

受賞おめでとうございます。益々のご活躍をお祈り申し上げます。

踊り、この日のために作曲した「すずかけの木物語」を演奏しました。子供たちは、和楽器の音色に耳を澄ませ映像にどよめきながら最後まで熱心に耳を傾けていました。私達はこの日の感動が子供たちの心の糧となることを願っています。
(岡安祐瑠)(小山花波)

第47回栃木県文化振興大会

令和5年度の文化振興大会は、真岡市民会館で1月20日に行われ佐野市からは19名の方が参加しました。

- 文化選奨 該当なし
- 文化奨励賞 五月女凱昂氏(吟詠詩舞)

両毛五市文化協会交流事業

両毛五市(佐野・足利・館林・太田・桐生)文化協会は毎年合同で美術展や吟詠詩舞・民謡民舞交流大会を行っています。

両毛五市吟詠詩舞交流大会

11月26日に桐生市のシルクホールで第29回交流大会が開催され、佐野市からは諏訪悠崖さんの代表者吟舞や幼年特別吟舞、構成吟舞など10演目が披露されました。



両毛五市美術展

第25回美術展は館林市の三の丸芸術ホールで12月13日〜17日に開催され、絵画・書道・写真・工芸の分野から見応えのある作品が展示され多くの方にご来場いただきました。佐野市から生人形も展示しました。



両毛五市民謡民舞交流大会

第28回民謡・民舞のつどいが12月9日に佐野市文化会館で開催され、両毛五市の民謡と民舞の団体が一堂に会して、18団体74曲の演目が披露されました。

式典では金子市長よりご祝辞を頂戴し



佐野の文化人

彫刻家 笹川むもんさん

今回は佐野市出身で現在は富山県に在住の彫刻家笹川むもんさんをご紹介します。むもんさんは、重要文化財の木造エラスムス像の模刻(現物を忠実に再現した彫刻)で知られています。赤坂町生まれ彫刻師三代目加茂蕃山に師事し彫刻家を目指しました。日展など多数の受賞歴があります。

2023年に笹川むもん彫刻展、「50th MUMONISM」を佐野で開催し大きな評判となりました。

佐野市の皆様にご協力いただき嬉しく感謝に堪えません。ありがとうございました。彫刻を始めたきっかけは? 「達成感」と「持続性」 高校卒業間際の頃、自分にとって幸せとは何かを

ました。佐野市から二代目を襲名した勇峰会二代目牛込勇峰代表を中心に17曲が披露され、最後は北海道民謡メドレーで賑やかに締めくくりました。



両毛五市文化協会交流会議

両毛地区文化活動の意見交換の場として6月26日(太田)と12月22日(館林)に会議を行い、佐野

県南文化協会交流会議

市から廣瀬会長と役員が出席して各協会の活動紹介や課題について活発に意見交換を行いました。席上、佐野市の活動について様々な質問がなされました。

県南地区(栃木・小山・下野・壬生・野木・佐野・足利)の文化協会では7月11日と2月28日に栃木市で各協会の事業内容を中心に情報交換を行いました。7月は令和4年に開館した栃木市美術館を視察いたしました。



じっくり考えました。登山に挑戦して山頂へ到着すると達成感が味わえます。文化財などの素晴らしいものは大切にされ後世まで残ります。私はこの二つの点を重視して彫刻(造形、アート)の世界を選びました。実家には当時職人さんが何人も居りその仕事を見て育った事も影響していると思います。これから何を目指しますか

日頃の生活の中で感じたこと、閃いたことの中から作品に繋げていきます。見たこともないような作品を目指します。若い芸術家へひとこと 若い体にはエネルギーが満ちて詰まっています。それがそのままアート・表現に映し出されます。スゴイことです。何でも思い切った挑戦して存分に自分を形に残してほしいと思います。(小山武) 題字は飯田景月氏

コラム
祝!
ダ・カーポ
デビュー50周年

コラムのコリナですが、今回は昨年、デビュー50周年を迎えたダ・カーポさんへの応援メッセージを掲載させていただきます。

令和5年12月3日に佐野市文化会館で当市ゆかりのフォークデュオ「ダ・カーポ」さんの記念コンサート「〜今日が一番若い日〜」が盛大に開催されました。

ご夫婦で仲良く活躍のお二人ですが、奥様の榊原広子さんは佐野市出身で、夫の政敏さんとはフォークソンググループで知り合い、現在も数々の名曲を唄い続けています。「ダ・カーポ」という名前前は音楽記号D・C。(最初に戻る)に由来し、いつでも初心を忘れずに歌い続けていくという気持ちを含めていそうです。

1974年に発表したシングル「結婚するって本当ですか」は60万枚を売り上げる大ヒット。同じく大ヒットした「宗谷岬」はNHKみんなのうたで放送されたものです。(1976年)

令和5年度 佐野市文化協会加盟団体名簿

〈絵画〉 日本水彩画会安足支部佐野地区会 美術愛好会 新・絵画同好会 佐野木よう会 〈工芸〉 丸山人形工芸倶楽部 絵手紙みちくさ トールペイント木精会 〈手芸〉 佐野パッチワーク同好会 パッチワーク藍好会 キルトの会 パッチワーク藍の会 〈書道〉 佐野書道連盟 両毛書道会 四家書院 景月書院 書道研究 竹心会 竹雅庵 佐野篆会 〈写真〉 全日本写真連盟 佐野支部 佐野写遊 〈音楽〉 レモンコーラス 佐野吹奏楽団 混声合唱団 コール・エッコ コール・アザレア 佐野市民合唱団 "voice" フルートアンサンブルパスピエ オカリナ愛好会・田沼 きらくな音楽会 女声コーラス田沼 コール・ポプリ パセリウインドオーケストラ インダストリーブラスアンサンブル	佐野少年少女合唱団♪dolce♪ 佐野市小学校バンド育成会 フルートアンサンブル「フルール・アミー」 〈邦楽〉 箏曲 琴声会 祥こう流 寿楓会 箏曲 藤絃会 長唄 瑠璃の會 祥こう流 祥麗会 〈和太鼓〉 田沼太鼓 〈洋舞A〉 クラシカルバレエアカデミーS.O.U クラシカルバレエ佐野 サンゼレソン Ballet・Spanish Studio 〈洋舞フラ〉 アロハ マウロア ノアノア アロハ マウロア ハウオリ アロハ マウロア プメハナ アロハ マウロア マカラプア アロハ マウロア モアナ アロハ マウロア リコラニ スカイブルーアロハ ホワイト プルメリア スカイブルーアロハ モアナ リノ スカイブルーアロハ ラウレア ナ プア ハワイ フラ アロハ フラ スウィートハートアロハ フラ ハイビスカス フラ プルメリア フラ モキハナ フラ ロケラニ ホアロハ フラ オルオル ホアロハ フラ ケニケニ ホアロハ フラ ジンジャー ホアロハ フラ マラエ	ホアロハ フラ モハラ ホアロハ フラ リコリコ ホアロハ フラ レファ ポーマイ フラ レア コーアニアニ ポーマイ フラ レア プリティマミー 〈邦舞〉 英佐会 花柳瀧三郎一門会 柳英会 和佳梅会 緋芙巳会 若柳流幸扇会 あおい会 〈文芸〉 あそ野短歌会 〈茶華道〉 佐野市茶華道協会 茶道部 佐野市茶華道協会 華道部 〈民謡〉 勇峰会 喜美英会 〈吟詠剣詩舞〉 佐野吟詠剣詩舞道協議会 〈歴史研究〉 安蘇史談会 秘宝・郷土文化を学ぶ会 佐野乾山顕彰会 〈歌謡〉 田沼歌謡愛好会 佐野カラオケ愛好会 〈演劇〉 さの演劇塾 〈映像〉 十六の会 〈パソコン〉 佐野ばそこん倶楽部 (順不同)
---	--	--

フォークだけでなく、テレビドラマの主題歌「野に咲く花のように」はどなたでも口ずさめる大ヒット曲ですね。優しい歌声と爽やかなハーモニーは心を穏やかに包み込んでくれます。12月のコンサートでは地元佐野東高校、佐野日大高・中学校コーラス部、混声合唱団コール・エッコの皆さんも参加されて花を添えました。

「ダ・カーポ」さんの記念コンサート「〜今日が一番若い日〜」が盛大に開催されました。ご夫婦で仲良く活躍のお二人ですが、奥様の榊原広子さんは佐野市出身で、夫の政敏さんとはフォークソンググループで知り合い、現在も数々の名曲を唄い続けています。「ダ・カーポ」という名前前は音楽記号D・C。(最初に戻る)に由来し、いつでも初心を忘れずに歌い続けていくという気持ちを含めていそうです。

佐野はラーメンを始め美味しいものが沢山あります。それは良い水の恵みのおかげだと思います。そのせいか？綺麗な声の女性が多いですね!!自画自賛で恐縮ですが、私のこの声も故郷から貰った恵みだと思っています。50周年コンサートツアアの最中ですが、全国の方に佐野発祥の歌声を届けたいと思っています。



この神社の境内に、柱高四・七m、柱周囲一・二mの青銅製と思われる鳥居があります。この青銅製鳥居は、延享三年(一七四六)に天明鑄物師丸山善太郎(每昭)・同林八、同孫右衛門清盛、同源助政重らの一族によって製造されたもので、その関係文書とともに昭和二〇年八月に国認定重要美術品に認定されました。

佐野の 명소・旧跡案内
国認定重要美術品 第3回
「一瓶塚稻荷神社 青銅製鳥居」

佐野市田沼町に位置する一瓶塚稻荷神社は、江戸時代初期から続く初午祭(毎年、三月上旬に開催)が有名で、大勢の人びとが参拝し、商売繁盛、五穀豊穡を祈っています。また、名物の「しんこまんじゅう」で知られています。

この神社の境内に、柱高四・七m、柱周囲一・二mの青銅製と思われる鳥居があります。この青銅製鳥居は、延享三年(一七四六)に天明鑄物師丸山善太郎(每昭)・同林八、同孫右衛門清盛、同源助政重らの一族によって製造されたもので、その関係文書とともに昭和二〇年八月に国認定重要美術品に認定されました。

本殿に向ってこの鳥居の右の柱に榊原安芸守(佐野市田沼町仲町の領主)、左の柱に佐野豊前守(唐沢山城主の子孫)の旗本二名と能満寺(明治時代になり廃寺)の当時の住職敦秀の名があります。

また、左右の柱に三三七名の人名と四一か村の村中・組合・

寺院など、多くの寄進者と寄進高を読みとることができ。寄進総額は金二七四兩三分と銭二三五五二八文です。

柱の根巻に八双飾りを鑄抜き、柱上に台輪を置いて島木をうけています。均整のとれた見事な鳥居で、天明鑄物全盛期の代表作であり、美術的価値も高く評価されています。

さらに、台右には三個ずつの阿・吽形の唐獅子の鑄物を配しています。これはなんと愛おしいものです。

関係の古文書は、この青銅製鳥居の請負仕様書と、内金領収書に完成後の決算書です。

延享三年三月に、天明鑄物師丸山善太郎(每昭)が、田沼町の世話人衆に見積書を提出し、同年四月には総代の内田氏が五十兩の内金を渡していますので既に着工したらしいことが分かります。完成は決算書によると同年九月ですから、おおよそ五か月かかっていることになりそうです。

天明鑄物は、佐野最大のブランドです。これからも大切にしていきたいものです。

令和5年度 佐野市文化協会役員

名誉会長	金子 裕	常任理事	藤井 謙一
相談役顧問	田沼 清	常任理事	吉本 義人
相談役顧問	青木 勇	常任理事	若林 秀真
顧問	佐野 正行	常任理事	矢澤 敦子
顧問	津布久夫	常任理事	荒井 宗佳
顧問	飯田 真二	常任理事	大高八三郎
顧問	熊倉 勝	常任理事	大竹 洵泉
顧問	須藤 誠治	常任理事	牛込 勇峰
顧問	厚木 健志	常任理事	谷 操
顧問	上岡 幸宏	常任理事	永島 由江
顧問	柄澤 晃一	常任理事	永島 由江
顧問	安原 高次	常任理事	村田 安貞
顧問	若柳 希京	常任理事	永島 由江
顧問	柳 誠	常任理事	稲葉由紀子
顧問	飯田 景月	常任理事	大芦 芳洲
顧問	若柳 幸	常任理事	荒井 脩
顧問	野尻 真弓	常任理事	荒瀬 裕
顧問	野尻 真弓	常任理事	岡安 祐璃
顧問	廣瀬 裕	常任理事	野尻 真弓
顧問	海老原 裕	常任理事	藤田真砂子
顧問	海老原 裕	常任理事	藤田真砂子
顧問	村田 安貞	常任理事	金井千代子
顧問	村田 安貞	常任理事	若柳 祐子
顧問	茂呂 朝花	常任理事	原田 靖子
顧問	岡安 祐璃	常任理事	原田 靖子
顧問	岡安 祐璃	常任理事	若柳 祐子
顧問	柳 祐子	常任理事	若柳 祐子
顧問	柳 祐子	常任理事 </td	